

平成27年7月7日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹

平成27年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、大気試料（PM2.5抽出液試料）（注1）中のイオン成分（アニオンとして塩化物イオン、硝酸イオン等、カチオンとしてアンモニウムイオン、カルシウムイオン等）を対象とします。高等精度管理調査としては大気試料（捕集管吸着物試料）（注2）中のアルデヒド類（ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド）及び底質試料中のフタル酸エステル類（フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジ-n-ブチル等）を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のホームページ（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

（注1）大気試料（PM2.5抽出液試料）については、水溶液の試料であり、水質分析を実施している場合に参加可能な試料・項目となっています。

（注2）大気試料（捕集管吸着物試料）については、有害大気汚染物質の他、アセトアルデヒド等の特定悪臭物質の測定を実施している場合に参加可能な試料・項目となっています。

本件担当

環境科学部 西尾、紀平
電話 044(288)5130

平成27年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領
(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

1. 調査試料

区分	名称	容器(内容量)	個数	備考
共通試料1	模擬大気試料1(PM2.5抽出液試料) (イオン成分分析用)	ポリエチレン瓶 (約500 mL)	1	水溶液
共通試料2	模擬大気試料2(捕集管吸着物試料) (アルデヒド類分析用)	捕集管	2	2,4-DNPH-シリカ捕集管(注)にアルデヒド類等を吸着させたもの
共通試料3	底質試料 (フタル酸エステル類分析用)	ガラス製瓶 (約50 g)	1	乾燥した底質で150 μ m(100メッシュ)のふるいを通過したもの

(注)2,4-DNPH-シリカ捕集管：2,4-ジニトロフェニルヒドラゾン-シリカ捕集管

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬大気試料1(PM2.5抽出液試料)(イオン成分分析用)

試料中のアニオン3項目(塩化物イオン、硝酸イオン、硫酸イオン)及びカチオン5項目(カリウムイオン、アンモニウムイオン、ナトリウムイオン、マグネシウムイオン、カルシウムイオン)の8項目を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬大気試料2(捕集管吸着物試料)(アルデヒド類分析用)

試料中のアルデヒド類2項目(ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド)を測定対象とする。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 底質試料(フタル酸エステル類分析用)

試料中のフタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、フタル酸ジシクロヘキシル、フタル酸ブチルベンジルの4項目を測定対象(詳細項目)とする。また、フタル酸ジエチル、フタル酸ジプロピル、フタル酸ジイソブチル、フタル酸ジ-n-ペンチル、フタル酸ジ-n-ヘキシルの5項目については、参照項目として測定対象とする(参照項目については、分析条件等の調査はせず、分析結果の報告のみとする)。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬大気試料1(PM2.5抽出液試料)(イオン成分分析用)

「大気中微小粒子状物質(PM2.5)成分測定マニュアル」の「イオン成分測定法(イオンクロマトグラフ法)(第2版)」。

ただし、試料は水溶液(PM2.5抽出液)であり、降水の分析方法「湿性沈着モニタリング手引き書(第2版)」又は排水の分析方法「JIS K 0102(工場排水試験方法)」(注1)により分析してもよい。

(項目により異なりますが、イオンクロマトグラフ法、吸光光度法、原子吸光法、フレイム光度法、ICP発光分光分析法、電極法等となります)。

(2) 模擬大気試料2(捕集管吸着物試料)(アルデヒド類分析用)

「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」(平成23年環境省水・大気環境局大気環境課)に定める固相捕集の方法。アセトアルデヒドについては、特定悪臭物質の測定の方法(昭和47年5月環境庁告示9号)も可能である。

(高速液体クロマトグラフ法(HPLC)、ガスクロマトグラフ法(GC/FTD)、ガスクロマトグラフ質量分析法(GC/MS)、高速液体クロマトグラフ質量分析法(HPLC/MS、HPLC/MS/MS)等となります)。

(3) 底質試料(フタル酸エステル類分析用)

「底質調査方法」(平成24年8月 環水大水120725002号、水・大気環境局)又は「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル(水質、底質、水生生物)」(平成10年10月環境庁水質保全局水質管理課)(いずれもGC/MS法)。なお、測定が可能であれば、水質の要監視項目(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)の測定方法に定めるガスクロマトグラフ法(GC/ECD)により分析してもよい。

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期(予定)

9月上旬

(2) 報告期限(予定)

(1) 大気試料1(PM2.5抽出液試料)(イオン成分)

大気試料2(捕集管吸着物試料)(アルデヒド類)

10月中旬

底質試料(フタル酸エステル類)

11月中旬

ただし、分析結果報告の方法(ホームページ又は用紙による報告)により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、ホームページによる報告に比べて期限が1週間程度早くなります。

(3) 調査結果の報告(公開等)

- ・10月報告期限の試料は、12月頃に調査結果(速報版)を予定しています。
- ・全体の中間報告は1月中旬程度を予定しています。
- ・分析結果を報告いただいた機関には、翌年度(時期未定)に調査結果報告書(環境省編)を送付予定としています。

5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ホームページによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付してください。

「ホームページによる方法」は、ホームページ「<http://www.env.go.jp/air/tech/seido>

kanri/index.html」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに記入してください。「機関コード」、「パスワード」のわからない機関（最近本調査に参加したことのない機関等）では、ホームページによる申し込みはできません。参加申し込みされた場合には、「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、分析結果報告等はホームページから可能です。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

(1) 申込期限 平成27年8月6日（木）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
環境科学部 西尾、紀平
TEL 044-288-5130

6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各機関の分析結果を公表（結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表）しますので、参加申込をいただいた機関については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ホームページによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ホームページを公開し、本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ホームページから分析結果報告を報告し、用紙による報告は必要ありません。ホームページによることが難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ホームページによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

平成27年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(地方公共団体、全国環境研協議会所属機関)

機関名		
機関コード	(わかれば記入してください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL () -
	氏名	FAX () -
希望する試料 (数字及び分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料1 (ホームページ、用紙) (注) (大気試料1 (PM2.5抽出液試料) : イオン成分分析用) 2. 共通試料2 (ホームページ、用紙) (注) (大気試料2 (捕集管吸着物試料) : アルデヒド類分析用) 3. 共通試料3 (ホームページ、用紙) (注) (底質試料 : フタル酸エステル類分析用)	

(注) 分析結果報告の方法 (ホームページ、用紙) を○で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

平成27年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成27年 月 日

機関名

担当者

印